

インフルエンザ(2025 年第 47 週)疫学情報

《コメント》

2025 年第 47 週の定点当たり報告数は 51.12(患者報告数 196,895)となり、前週の定点当たり報告数 37.73 よりも増加した。都道府県別では宮城県(89.42)、福島県(86.71)、岩手県(83.43)、埼玉県(79.51)、秋田県(75.72)、栃木県(74.47)、群馬県(73.47)、山形県(66.62)、青森県(66.37)、神奈川県(66.25)、長野県(63.42)、北海道(61.78)、千葉県(61.43)、富山県(60.83)、愛知県(60.16)の順となった。全国 47 都道府県全てで前週の報告数よりも増加した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 2,055 例であり、前週(1,468 例)から増加した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(108 例)、1～4 歳(414 例)、5～9 歳(365 例)、10 代(184 例)、20 代(39 例)、30 代(38 例)、40 代(30 例)、50 代(53 例)、60 代(110 例)、70 代(255 例)、80 歳以上(459 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2025 年第 43 週～2025 年第 47 週)では、AH3 亜型が 185 件(94%)、AH1pdm09 が 6 件(3%)、B 型が 6 件(3%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://idw.info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。